

# 平成 30 年度学生受入部門活動報告

部門長 瀨瀬 守

## 1. 会議等の記録

平成 30 年度の会議記録を表 1 に示す。

表 1 学生受入部門会議

開催日	主な審議議題
4 月 24 日	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 平成 30 年度 学生受入部門構成員について</li><li>2. 平成 29 年度活動報告及び平成 30 年度の事業計画について</li><li>3. 大学入学者選抜改革への対応について<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題の活用に関するガイドラインについて</li><li>(2) 高大接続改革等に関する意見照会について</li></ol></li><li>4. 教学 IR データ分析について</li><li>5. ≪継続≫岐阜大学案内 2019 年版の作成について</li><li>6. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について</li><li>7. 大学見学及び出前説明会の依頼について</li></ol>
5 月 22 日	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について</li><li>2. ≪継続≫大学入学者選抜改革への対応について</li><li>3. オープンキャンパスアンケートについて</li><li>4. ≪継続≫岐阜大学案内 2019 年版の作成について</li><li>5. 入試広報について</li></ol>
6 月 26 日	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 平成 30 年度 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会報告</li><li>2. 平成 30 年度 国立大学入試担当課長連絡協議会報告</li><li>3. ≪継続≫大学入学者選抜改革への対応について</li><li>4. ≪継続≫入試広報について</li></ol>
7 月 24 日	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について</li><li>2. ≪継続≫大学入学者選抜改革への対応について</li></ol>

9月25日	1. 平成33年度(2021年度)大学入学者選抜(案)について 2. 2020年版大学案内について
10月25日	1. 平成33年度(2021年度)大学入学者選抜について 2. 2020年版大学案内について
11月22日	1. 平成33年度(2021年度)大学入学者選抜について 2. 大学入学共通テストに向けた試行調査(プレテスト)について 3. 2020年版大学案内について
1月31日	1. 平成33年度(2021年度)大学入学者選抜について (1) 英語認定試験及び記述式問題(国語)の活用について (2) CEFRと大学入試センター試験(英語)の成績対比について
3月28日	1. 平成33年度(2021年度)大学入学者選抜について (1) 英語認定試験及び記述式問題(国語)の活用について (2) 大学入学共通テストに係る今後のスケジュール(案)について 2. 2020年版大学案内について 3. 平成31年度に開催される学外進学説明会等への参加について

## 2. 活動内容及び成果

部門業務は、次の4つのミッションに区分している。

(業務1: 調査分析) 入学者選抜方法の改善に係る調査・分析・検討

教学IR データセット入試データの作成・分析

他大学調査・分析

入試制度の検証・改善案の作成

(業務2: 広報) 入試情報の提供及び広報活動

大学案内の作成公表

大学情報の受験雑誌等への出稿

オープンキャンパスの開催

学外機関主催の大学説明会への参画

高等学校の大学見学

高等学校への往訪

(業務3: 高大接続) 高大接続

## 高等学校関係者との懇談会

(業務4：その他)

『平成29年度活動報告』に基づき、平成30年度の取組方針を策定し、平成30年4月24日の第1回部門会議において承認され、年間を通じて活動を行った。

### 【調査分析】

#### ○継続活動

- ① 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会、国立大学入試担当課長連絡協議会に出席し、大学外の入試関連情報を5学部で共有した。
- ② オープンキャンパスのアンケート項目に全学共通項目（用紙：表面）を設け、参加者の属性、動機の分析から来場者の動向を調べ、次年度の実施に向けての改善点を検討した。

#### ○本年度の重点活動

##### (a) 教学IRデータセットの活用

年度当初の方針は、認証評価（基準4）に対応するための本格的なデータ活用であったが、平成31年度の大学機関別認証評価受審の分析項目が、前回受審時の項目と大きな変更がみられなかったことから、教学IRデータを大学入学者選抜改革に向けた検討に活用することとした。具体的には、平成32年度から導入される大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験の加点割合を検討する材料として、新入生アンケート（入学前の英語資格取得状況）と入試成績との相関を調査し、結果を部門内で共有した。

##### (b) 入試改革・改善に対応するFDの実施

当部門主催のFDは実施しなかったが、大学入試センターが主催する入学者選抜研究連絡協議会大会に2学部が参加した。個別入試において多面的・総合的評価を実施しているいくつかの事例発表を聞き、本学の入試方法見直しの参考とした。

### 【広報】

#### ○継続活動

- ① 高校生の大学見学への対応、学外機関主催の大学説明会への参加、マスコミへの取材協力などの入試広報に関する業務について、学部と連携して積極的に取り組んだ。
- ② 『岐阜大学案内2019』を完成し、学外に広く配布した。  
『岐阜大学案内2020』の作成方針を決定した。

○本年度の重点活動

(a) 大学見学に関する大学ホームページ掲載効果の検証

大学ホームページ掲載の見学申込書による申し込みは4件（総申し込みは13件）であった。申込フォーマットが一本化されたことで業務効率が上がった。今年度からホームページ掲載を開始したので、今後数年の動向を注視していく。

(b) 出前説明会の効果検証

県内の高校へ出向いて行う岐阜大学単独の説明会として今年度から実施した出前説明会は5校の申し込みがあった。当初は、部門委員1名が出向いて全学部の概要説明を行うことを想定していたが、高校側から学部ごとに教室を分けて実施したい旨の依頼があり、各学部に派遣依頼することとなった。課題として、学部調整の煩雑、旅費増加が挙げられるが、今年度から開始した試みでもあり、今後数年の動向を注視していく。

(c) 高校に対する新たな広報手法の検討

教学 IR データを活用して志願者・入学者の出身高校別リストを作成し、戦略的な広報の在り方を検討した。

【高大接続】

○継続活動

- ① ステークホルダーと対話する関係づくりの一環として、「岐阜県高等学校長代表者と岐阜大学との懇談会」実施に向けて積極的に協力した。

○本年度の重点活動

(a) 高等学校関係者との対話の場の確保

平成 32 年度（2020 年度）以降の入学者選抜改革の検討を優先しており、対話の場の確保については次年度も検討を継続する。

(b) 「大学入学者選抜改革」に関する情報収集・共有

「大学入学共通テスト」に関する情報を常に収集し、部門内で共有した。

(c) 平成 30 年度中に公表する入学者選抜基本方針の検討

文部科学省高等教育局長通知の「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（通知）」及び「大学入学共通テスト実施方針」、国立大学協会が公表した「平成 32 年度以降の国立大学の入学者選抜制度 ―国立大学協会の基本方針―」に基づき、他大学の動向も踏まえ検討を重ねた。10 月の部門会議において基本方針案を策定、当月の入学試験専門委員会に上申し、承認を得た。その後、役員懇談会へ報告し、公表した。

## 【その他】

### (a) 第3期中期目標期間の活動の推進

概算要求（高大接続改革）に基づき、教学 IR データセット（①新入生アンケート（入学前活動を含む）、②入試データ（推薦入試結果含む）、③学務科目成績データ、基盤的能力調査データ、卒業時データ、就職先データ）の更新を継続した。また、インターネット出願システムの導入にあたって、アンケート収集を可能にする環境を整えた。

## 3. 課題及び次年度の取組方針

4つのミッションに関する課題及び次年度の取組方針は次のとおりである。

### 【調査分析】

- ・ 教学 IR データセットの活用[入試改革への対応]
- ・ 面接法等入試改革・改善に対応する FD の企画実施、外部主催の FD への参加

### 【広報】

- ・ 大学見学に関する大学ホームページ掲載効果の検証
- ・ 出前説明会の効果検証
- ・ 高校に対する新たな広報手法の検討

### 【高大接続】

- ・ 高等学校関係者との対話の場の確保（継続課題）
- ・ 「大学入学者選抜改革」に関する情報収集・共有
- ・ 大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題（国語）の加点方法の検討

### 【その他】

- ・ 第3期中期目標期間の活動の推進

以上

## 平成 30 年度教養教育推進部門活動報告

部門長 野村 幸弘

副部門長 纈纈 守

橋本永貢子

池田 祥英

### 1. 会議等の記録

全学共通教育に係る業務は、教養教育推進部門会議を中心に進めた。改革のための企画立案は、有志学生による「岐阜大学教育企画立案学生チーム」と月 1 回ミーティングを行い、学生の意見を積極的に取り入れながら、部門長、副部門長、機構専任教員によるワーキンググループで原案を作成し、教学企画室会議、ならびに教養教育推進部門会議の意見も反映させた後、教学委員会に諮るというプロセスで業務を進めた。

表 1 教養教育推進部門会議

4月9日	平成29年度後学期授業評価アンケートの集計結果について 平成29年度後学期成績異議申し立て状況について 平成30年度前学期放送大学に在学する特別聴講学生の受入れについて 平成30年度教養教育推進部門会議の開催日について
5月7日	平成30年度前学期授業評価アンケートについて 平成30年度活性化経費（教育）の申請について 平成30年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成30年度前学期特別聴講学生等の履修について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について 平成30年度後学期授業時間割について 学務系システムの不具合について
6月4日	平成30年度前学期の履修登録状況について 平成30年度教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費（前期分）の配分について 平成29年度後学期全学共通教育開講科目「Web履修申請」日程について 第7回教養講演会及び2018年度第1回FD研究会の開催について
7月2日	平成30年度活性化経費（教育）の採択結果について 平成30年度前学期定期試験の実施について 英語の集中クラスについて 平成30年度国立大学教養教育実施組織会議（6/7, 8）について 学生用図書のおすすめについて

9月3日	平成30年度前学期追試験の実施について 平成30年度後学期聴講生の受け入れについて 平成30年度非常勤講師採用計画の一部変更について
9月19日	平成30年度非常勤講師採用計画の一部変更について
10月1日	平成30年度前学期英語集中クラスの結果について 岐阜大学教養科目に係る「大学以外の教育施設等における学修」の単位認定に関する取扱細則の一部改正について
11月5日	平成30年度前学期授業評価アンケートの集計結果及び平成30年度後学期授業評価アンケートについて 平成30年度前学期科目ごとの成績分布について 平成30年度後学期の履修登録状況について 平成30年度後学期コンソーシアム科目の履修について 平成30年度教養教育推進部門推進費（後期分）の配分について 2019年度新規開講科目について 2019年度開講授業計画について 2019年度以降の「英語」の再履修について
12月3日	2019年度サテライト早朝クラスについて 2019年度非常勤講師採用計画について 2019年度前学期履修申請日程について 2019年度新規開講科目について インフルエンザ等感染に伴う全学共通教育授業の欠席学生の対応について
1月7日	平成30年度大学間・部局間交流協定に伴う修得単位の認定（地域科学部 国際教養コース）について 2019年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成30年度後学期定期試験の実施について 2019年度前学期授業時間割について
2月5日	2019年度非常勤講師採用計画の一部変更について 全学共通教育ガイダンス日程について
3月5日	平成30年度部会報告について 平成30年度後学期特別聴講学生等の成績について 教養教育推進部門第2回FD研究会・学修支援部門第4回FD・SD研究会の報告について 岐阜大学全学共通教育科目に関する規程の一部改正について 2019年度非常勤講師採用計画の一部変更について

## 2. 活動内容及び成果

○平成 30 年 6 月 7・8 日に「ホテルメトロポリタン高崎」で開催された第 55 回国立大学教養教育実施組織会議に参加した。第 2 分科会の議題には本学が提案した「高学年次生や大学院生に対する教養教育の重要性について」が採択され、教養教育推進部門長の野村幸弘教授が岐阜大学で新規開講した「高年次教養セミナー」について発表した（写真 1）。また第 4 分科会にはやはり本学提案の「大学外の企業や団体等からの働きかけを受けて開講する寄附講座などの科目の扱いについて」が採択され、廣内大輔准教授（教育推進・学生支援機構）が提案理由および岐阜大学の実態について発表を行った。



写真 1

○教養教育の重要性を広く学生にアピールするため、今年度は「教養講演会」を 2 回開催した。第 7 回（6 月 13 日）は、石田芳弘「政事と祭事を通して民主主義を考える」（写真 2）、第 8 回（11 月 27 日）は荒川清秀「中国語を歩く一日中漢字の意味の違いを考える」（写真 3）である。これまで作成した教養講演会の広報用ポスターは、全学共通教育棟 1 F の廊下にパネルに入れて掲示した。



写真 2

○イングリッシュ・センターを設立し、英語について技能別のカリキュラム（の全学部での実施を開始した。授業内容を統一し、常勤・非常勤講師間の連携および事務室との連携を密にした。また定期試験を受験し不合格になった学生に対して、夏期・春期休暇中の各 4 日間の集中講座を開講し、学び直しと試験に再挑戦する機会を与えた。



写真 3

○9 月 25・26 日（一泊二日）で学外研修施設（長良竜東町）にて、英語のみを使用言語とする合宿（イングリッシュ・キャンプ）を実施した（写真 4）。

○イングリッシュ・センターで個別英語指導を提供するイングリッシュ・エクストラを始め、英語の勉強の仕方や授業に関する質問、相談、英会話、留学相談、プレゼンテーションの練習、TOEIC・TOEFL 等のテスト対策等、様々な内容に対応した。

○「高年次教養セミナー」を新規科目として開講した。（写真 5・6）。

○ニュースレター「教養教育 NEWS」第 29 号を発行した（写真 7）。

○平成 30 年度第 1 回 FD 研究会「出会いのレッスンとしての授業」ア



写真 4



アイスブレイク入門—なぜ学生と学生を出会わせるのか？—実践報告その3」を学修支援部門との共催で開き（6月27日）、教育学部の今村光章教授のファシリテートによるワークショップ形式で、アイスブレイクの具体的な方法を大勢の参加者が体験した（写真8）。

○平成30年度第2回FD研究会「学生から見た教養教育と学びの空間」を学修支援部門との共催で開催した（3月1日）。E-plusの堀山英杜さん（工学部4年）が「E-plusの活動の成果～教養の大切さをどう伝えていくか」というテーマで、池田祥英准教授（教育推進・学生支援機構）が「多様化する教養教育～私立大学と国立大学における事例から考える」というテーマで発表し、後半は、教養教育推進部門副部門長の瀬瀬守教授と橋本永貢子教授が加わり、活発な議論を行った。（写真9）。

○国立東海機構の設置を見据え、名古屋大学の共通教育、とくに英語教育の連携について、数回、協議した。

○平成30年度から授業編成専門委員会は廃止し、これまでそこで報告・審議してきた内容は教養教育推進部門会議で行い、教養教育に関することは、主に教学委員会で審議した。



写真5



写真6



写真8



写真9



写真7

### 3. 課題及び次年度の取組方針

- 「教養講演会」の開催、「教養教育 NEWS」の発行、FD研究会等による「教養教育のアピール」。
- 授業担当者、および授業科目数を確保すること。
- English Center の発展と英語教育のさらなる充実。
- 「高年次教養セミナー」の継続と広報。
- 名古屋大学との共通教育の連携。
- eplus との協同。
- 第二外国語の授業目標の明確化。
- 推進費の有効な使い方。
- 全学共通教育に責任をもつ教員組織の検討。

# 平成 30 年度学修支援部門活動報告

部門長 岩橋 均  
副部門長 廣内 大輔  
副部門長 松原 正也

## はじめに

学修支援部門は、その下部組織として、初年次教育担当とメディア教育担当の 2 つを持つ。よって本稿、まず学修支援部門全体の動向を記した後、これら 2 つのグループがそれぞれの担当業務について記載するものとする。

## 【学修支援部門全体の動向】

### 1 会議記録

#### 学修支援部門会議

開催日	主な審議議題
4 月 11 日	① 学修支援部門名簿 ② 学修支援部門の体制について ③ 今年度の検討事項について ④ 平成 30 年度計画について ⑤ 平成 30 年度アカデミック・コア政策経費について ⑥ 平成 30 年度岐阜大学活性化経費（教育）の公募について
5 月 14 日	① 各担当報告 ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ 平成 30 年度岐阜大学活性化経費（教育）の公募について
6 月 11 日	① 各担当報告 ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ 長期休暇中のアカデミック・コアの使用について
7 月 9 日	① 各担当報告 ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ 長期休暇中のアカデミック・コアの使用について ④ 平成 30 年度岐阜大学学生レポートコンテストについて

	⑤ 学修支援部門ニューズレターについて
9月10日	① 各担当報告 ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ アカデミック・コア学生スタッフの採用について ④ 教員向け AIMS 講習会について ⑤ 平成 30 年度計画に対する 9 月末時点での進捗状況の報告について
10月19日	① 各担当報告 ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ 平成 30 年度第 1 回学修支援部門 FD・SD 「教員向け AIMS 講習会」について ④ 平成 30 年度第 2 回学修支援部門 FD・SD について
11月16日	① 各担当報告 ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ 平成 30 年度第 2 回学修支援部門 FD・SD 「これがアクティブ・ラーニング!？」について ④ 平成 30 年度第 3 回学修支援部門 FD・SD 「ICE モデル (仮)」について ⑤ 各学部等成績分布の分析観点について ⑥ シラバス作成ガイドライン (仮称) について ⑦ 休業日のアカデミック・コア使用について
12月14日	① 各担当報告 ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ 平成 30 年度第 3 回学修支援部門 FD・SD 「ICE モデル～アクティブラーニングの効果的なツール～」について ④ シラバス作成ガイドライン (案) について ⑤ 成績評価基準について
1月11日	① 各担当報告 ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ 平成 30 年度第 3 回学修支援部門 FD・SD 「ICE モデル～アクティブラーニングの効果的なツール～」について (報告) ④ 岐阜大学シラバス作成ガイドライン (案) について ⑤ 成績評価基準について
2月8日	① 各担当報告 ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ 岐阜大学シラバス作成ガイドライン (案) について ④ 成績評価基準について ⑤ 全学共通教育新入生ガイダンスについて

3月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各担当報告</li> <li>② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況</li> <li>③ 平成30年度教養教育推進部門・学修支援部門合同FD・SD（平成30年度第2回教養教育推進部門・第4回学修支援部門FD・SD）「学生から見た教養教育と学びの空間」について</li> <li>④ 岐阜大学シラバス作成ガイドライン（案）について</li> <li>⑤ 成績評価基準について</li> <li>⑥ 平成30年度計画の実施状況について</li> <li>⑦ 合同会議の実施について</li> </ul>
------	---

学修支援部門 初年次教育担当・メディア教育担当合同会議

開催日	主な審議議題
4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教育推進・学生支援機構 学修支援部門員の紹介</li> <li>② 教育推進・学生支援機構規程および部門細則の確認</li> <li>③ 平成30年度計画について</li> <li>④ 学修支援部門の体制について</li> </ul>
3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 今年度の活動報告及び来年度の検討事項について</li> <li>② 平成30年度計画の実施状況について</li> </ul>

【初年次教育担当】

1 会議記録

初年次教育担当会議

開催日	主な審議議題
4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 今年度の活動計画について</li> <li>② 初年次セミナーにおける図書館ツアーの司会進行について</li> <li>③ 初年次セミナーの授業評価アンケートについて</li> <li>④ アカデミック・コア利用者数とイベント実施状況</li> <li>⑤ 平成30年度アカデミック・コア政策経費について</li> <li>⑥ 平成30年度岐阜大学活性化経費（教育）の公募について</li> <li>⑦ 平成29年度岐阜大学学生レポートコンテスト表彰式について</li> </ul>
5月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「学びをデザインする」について</li> <li>② アカデミック・コア利用者数とイベント実施状況</li> <li>③ 平成30年10月期採用の学生スタッフの募集について</li> <li>④ 学生のアクティブ・ラーニングの促進について</li> </ul>

6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「学びをデザインする」開講について</li> <li>② 平成30年10月期採用の学生スタッフ募集について</li> <li>③ 学生のアクティブ・ラーニングの促進について (FD・SDの企画)</li> </ul>
7月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年度岐阜大学学生レポートコンテストについて</li> <li>② 平成30年度図書館ツアーのアンケート集計結果について</li> <li>③ 平成30年度学修支援部門FD・SD企画案について</li> </ul>
9月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① アカデミック・コア学生スタッフ採用(後期)の選考結果について</li> <li>② 平成30年度レポートコンテスト募集要項について</li> <li>③ 平成30年度学修支援部門FD・SD企画案について</li> <li>④ 平成30年度第1回学修支援部門主催FD・SD教職員向けAIMS講習会について</li> </ul>
10月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年度第2回学修支援部門FD・SD「これがアクティブ・ラーニング!?!」について</li> <li>② 2019年度初年次セミナーの内容について</li> </ul>
11月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成30年度第2回学修支援部門FD・SD「これがアクティブ・ラーニング!?!」について</li> <li>② 平成30年度第3回学修支援部門FD・SD「ICEモデル～アクティブラーニングの効果的なツール～」について</li> <li>③ 第4回岐阜大学学生レポートコンテスト募集について</li> <li>④ 各学部等成績分布の分析観点について</li> </ul>
1月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成31年度初年次セミナーにおける図書館ツアーについて</li> <li>② 平成30年度第3回学修支援部門FD・SD「ICEモデル～アクティブラーニングの効果的なツール～」について</li> <li>③ 第4回岐阜大学学生レポートコンテスト審査について</li> <li>④ 2019年度アカデミック・コア学生スタッフの募集について</li> <li>⑤ 岐阜大学生のためのレポート・論文の書き方について</li> <li>⑥ 全学共通教育新入生ガイダンスについて</li> </ul>
2月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2019年度初年次セミナーの予定について(変更)</li> <li>② 平成30年度教養教育推進部門・学修支援部門合同FD・SD(平成30年度第2回教養教育推進部門・第4回学修支援部門FD・SD)「学生から見た教養教育と学びの空間」について</li> <li>③ 第4回岐阜大学学生レポートコンテスト審査について</li> <li>④ 2019年度アカデミック・コア学生スタッフの募集について</li> <li>⑤ 全学共通教育新入生ガイダンスについて</li> <li>⑥ 次年度への申し送りについて</li> </ul>
3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2019年度前期アカデミック・コア学生スタッフの採用について</li> </ul>

	② 第4回岐阜大学学生レポートコンテストについて ③ 2019年度図書館ツアーについて ④ 2019年度全学共通教育新入生ガイダンスについて
--	--

## 2 活動内容及び成果

### ・全学共通教育新入生ガイダンスでの説明

全学共通教育新入生ガイダンスにおいて、教養教育の重要性を中心に各学部の新入生に説明を行った。

### ・岐阜大学における学生のアクティブ・ラーニングの促進について

- 1) 平成 28 年度に定義した本学のアクティブ・ラーニングの定義について周知を図り、また、新様式のシラバスの運用を本格的に開始し、すべての教員が同じ様式のシラバスを用いた。
- 2) 学生のアクティブ・ラーニングを促進する科目を選定し一層の整備を進める目的で、「これがアクティブ・ラーニング!?!」「ICE モデル（アクティブ・ラーニングの効果的なツール）」「学生から見た教養教育と学びの空間」と題したFD・SDを行い、延べ137名の参加があった。

### ・「ひろがる学び，つながる学び」の開講について

前学期に開講し、4名の学生が履修した。

### ・「学びをデザインする」の開講について

- 1) 初年次セミナーの受講者にこの科目の紹介を行い、受講希望者および関心を示す学生に対して、事前説明会を4回実施した。
- 2) 受講希望者には、「さんかんがく」からアドバイザー教員を探すように促した。併せて、学修支援部門長より各学部の教員にアドバイザー教員の周知と、履修希望者からの相談に応じてもらえるよう依頼を行った。
- 3) アドバイザー教員が決まった後に、当該教員への授業内容の説明を行った。
- 4) 後学期に開講し、8名の学生が履修登録した。

### ・岐阜大学学生レポートコンテストの実施について

これまで応募作品は単著のみを受け付けてきたが複数人で著したレポートも可とする、A4サイズのレポート用紙8枚以内とする等、応募の規定の見直しを行い、レポートコンテストの新たな「募集要項」を作成し公開したうえで募集を行った。応募総数は12作品（過去最多）となり、初年次教育担当の全委員と学修支援部門長で審査し、入賞（最優秀賞：1，優秀賞：2，佳作：1）作品を選定した。

### ・アカデミック・コアにおけるSA及びTAに求められる能力の開発について検討した。

- 1) FD・SDにアカデミック・コア学生スタッフが参加し、自身の体験や業務を通じて身に付いたことを発信した。

- 2) アカデミック・コアで勤務する学生スタッフが契約期間を更新して勤務する際に面接による中間評価を行った。また、新規採用者にはサポート・事前研修を実施した。
  - 3) 学生スタッフによるイベントの企画内容を充実させ、「高校化学の復習」「かんたん爬虫類講座」等 29 件のイベントを実施した。
  - 4) 学生が苦手意識を抱きやすい科目を調査し、その中でも「力学」「無機化学&量子化学」「電磁気学」「有機化学」に特化した学習支援活動「テスト対策講座」を TA・SA が企画し、実施した。
- ・初年次セミナーのあり方について
    - 1) 平成 29 年度に行った見直し案の下、図書館ツアーにおける本借り出し体験について受講生が本を検索し、借り出して持ち帰る形に変更し実施した。
    - 2) 初年次セミナーの授業評価アンケートを実施し、受講生の満足度、前年度との比較分析・意見交換を行った。
  - ・『岐阜大学生のためのレポートの書き方』（旧『岐阜大学生のための日本語表現練習ノート』）について、初年次教育担当で記載内容を精査した。

### 3 課題及び次年度の取組方針

全学共通教育新入生ガイダンスで、教養教育に関する説明を行う。また、引き続き初年次セミナーにおける図書館ツアーを実施する。

アカデミック・コアの年間利用者は平成 30 年度も約 8 万人であった。当初目標の 4 万人を大きく上回る利用があり、運営は順調である。今後は質の向上を念頭に、「テスト対策講座」の充実や、それに関わるアカデミック・コアで勤務する SA・TA に対してのサポート・教育にも継続して注力する。

「ひろがる学び、つながる学び」を開講し、授業を通して大学生としての学び方を教授し、本学の SA や TA として活躍できる能力の開発を目指す。また、「学びをデザインする」を開講し、学生がもっとも関心のあることを自主的に学ぶことを支援する。

「岐阜大学学生レポートコンテスト」を実施し、より多くの作品が応募されるように学内へ広く周知を行うとともに、後輩の手本となるレポートの収集を行っていく。さらには、現在、学修支援部門として行っている本取り組みを、教育推進・学生支援機構として実施できないかということについて検討を行う。

岐阜大学における学生のアクティブ・ラーニングの促進について、学修支援に関する FD・SD を継続して実施し、部門員の積極的な参加を含め、FD・SD への参加者を増やす取り組みについて検討する。

## 【メディア教育担当】

### 1 会議記録

#### メディア教育担当会議

開催日	主な審議議題
4月25日	① メディア教育担当におけるこれまでの取り組みと今年度の活動目標に関する協議 ・メディア教育担当の活動内容・成果および課題の確認 ・メディア教育担当の今年度の活動目標に関する協議 ② 学務情報システムと AIMS-Gifu の受講者連携について
5月23日	① メディア教育担当における今年度の活動計画について ・昨年度までのメディア教育担当に係る業務 ・広報に関する業務 ・年間活動計画 ② AIMS における課題・クイズ・成績の利用実態について ③ TA の課題へのアクセス権限について
6月27日	① LMS に関する協議 ・AIMS-Gifu について ② 広報に関する協議 ・ニューズレターに関する作業について ・学修支援部門 WEB ページについて
7月25日	① LMS に関する協議 ・AIMS-Gifu について ② 広報に関する協議 ・ニューズレターに関する作業について
9月25日	① LMS に関する協議 ・AIMS-Gifu について ・AIMS-Gifu(Canvas)の更新について ・AIMS 利用者講習会について ② 広報に関する協議 ・ニューズレターに関する作業について ③ ICT を活用した学修支援に関する協議
10月24日	① LMS に関する協議 ・AIMS-Gifu について ・AIMS-Gifu(Canvas)の更新について ・AIMS 利用者講習会について



	② 広報に関する協議 ・ ニュースレターに関する作業について ③ ICT を活用した学修支援に関する協議
11月28日	① 広報に関する協議 ・ ニュースレターに関する作業について
12月26日	① 広報に関する協議 ・ ニュースレターに関する作業について
1月30日	① LMS に関する協議 ・ AIMS-Gifu について ② 広報に関する協議 ・ ニュースレターについて
2月27日	① LMS に関する協議 ・ AIMS-Gifu コミュニティの年度継続申請について
3月22日	① LMS に関する協議 ・ AIMS-Gifu について ・ AIMS-Gifu コミュニティの年度継続申請について ・ AIMS 講習会の実施について ② 広報に関する協議 ・ 学修支援部門 NewsLetter について ・ AIMS 講習会の実施について

## 2 活動内容及び成果

- ・ 岐阜大学における LMS (Learning Management System) および学務情報システムのあるべき姿とその実現方策の検討を行った。
  - 1) AIMS-Gifu 運営を円滑にするための AIMS ヘルプデスクおよび情報連携統括本部等他部局連携体制の見直し
  - 2) AIMS-Gifu 利用マニュアルの作成・見直し
  - 3) AIMS-Gifu 利用講習会(学修支援部門 FD・SD)の企画および実施
  - 4) AIMS ヘルプデスクの月例活動報告と集計
  - 5) AIMS ヘルプデスクコミュニティの運営および利用ルールの見直し
  - 6) AIMS-Gifu および学務情報システムの機能役割の検討および整理
  - 7) AIMS-Gifu と学務情報システムのコース受講者連携に係る調整
  - 8) AIMS-Gifu 利用問い合わせ等への対応および問題解決
- ・ アクティブ・ラーニングをサポートする教育コミュニケーションツールの利用法の検討を行った。

- 1) アカデミック・コア学生スタッフによる自発的な ICT 教育利活用法の検討
- ・ 広報に関する協議を行った。
  - 1) アカデミック・コアスタッフ，学生スタッフを主導とした学修支援部門 News Letter の刊行
  - 2) 学修支援部門 Web ページの構成・内容等についての検討
- ・ 学修支援部門メディア教育担当会議を実施した。(全 10 回)
- ・ G-group スペースおよびメーリングリスト等 ICT を活用した会議等業務の効率の向上を図った。

### 3 課題及び次年度の取組方針

アクティブ・ラーニングを支援する Learning Management System を利活用する方策を検討する。具体には，AIMS-Gifu 利用講習会の企画および実施，AIMS-Gifu 利用マニュアル作成・見直しなどによる AIMS-Gifu 利用環境の整備・改善，学内情報サービスとの連携強化，AIMS-Gifu システムの利用者からの要望に対する反映の検討，AIMS-Gifu 運用を円滑にするための他部局との連携等を実施する。

学内に整備されたアクティブ・ラーニングをサポートする ICT ツールの利活用法の検討について，ICT 機器および情報通信ネットワーク環境等の現状確認，ICT 機器によるアクティブ・ラーニングをサポートする利活用法の検討を行う。

また，学修支援部門における広報活動について，アカデミック・コアスタッフ，学生スタッフを主導とした学修支援部門 News Letter の刊行，学修支援部門 Web ページの構成・内容等について検討する。

# 平成 30 年度学生生活支援部門活動報告

部門長 杉森 弘幸

## 1. 会議等の記録

部門の会議は表 1 に示すように 5 回開催した。

表 1 学生生活支援部門会議

開催日	主な議題
4 月 27 日	平成 30 年度課外活動支援事業について 学生生活実態調査の実施方法について キャンパス敷地内禁煙対策について 部門会議開催予定について
5 月 25 日	学生生活実態調査の実施方法について（継続協議） キャンパス敷地内禁煙対策について（継続協議）
6 月 22 日	学生生活実態調査の実施方法について（継続協議） キャンパス敷地内禁煙対策について（継続協議） 雨天時の傘さし及びスマートフォンのながら運転（自転車）について
7 月 20 日	学生生活実態調査の実施方法について（継続協議）
9 月 14 日	学生生活実態調査の実施方法について（継続協議） 平成 30 年度課外活動支援事業について キャンパス敷地内禁煙の徹底のための構内巡視について
2 月 13 日	理事（教学担当）被表彰団体・被表彰者について
3 月 8 日	平成 31 年度学生団体設立承認について

## 2. 活動内容及び成果

### （1）学生生活実態調査の実施

学生生活の実態を把握し諸施策を検討するうえで必要となるデータの収集を目的として、平成 30 年 9 月 20 日～10 月 31 日の実施期間（後に 2 月末まで期間延長）において、学務情報システムを使用したアンケートを実施した。対象とした全学部学生及び大学院生が、各学部・研究科のガイダンスや授業などを通じてスマートフォンや PC から回答を行った。調査結果は、学部及び大学院ごと、男女別等に集

計・分析を行い、令和元年度に報告書を作成する予定。

(2) キャンパス敷地内禁煙の徹底のための構内巡視の実施

安全衛生委員会からの連絡を受けて、学生生活支援の立場から企画した。各委員は所属学部の敷地内の喫煙スポット等を学生支援課職員と共に巡視を行った。第1回を10月に、第2回を12月末までに、計二回の巡視を昼休み時間を中心に実施。数か所において吸殻を確認、喫煙者1名と煙草携帯者1名を発見し携帯者には注意を、喫煙者には保健管理センターと連携して禁煙指導を行った。

(3) 雨天時の傘さし運転（自転車）対応

学外の訪問者から指摘があり、自転車走行中のスマートフォンを見ながらの運転や雨の日の傘さし運転を注意喚起する一斉メールを学生へ配信した。

(4) 課外活動支援事業の実施

課外活動の活性化を目的に、課外活動経費250万円を申請のあった28団体に対して、経常的要素をベースに若干の競争的要素を加えた配分方法で決定した支援額を上限として、2月末までに申し出のあった団体へ支援を行った。

(5) 理事（教学担当）表彰の実施

学生団体から提出のあった活動報告書の成績から申合せに基づき抽出・承認を得た8団体と22名に対して、平成31年2月27日（水）11時にアカデミック・コアにおいて表彰式を実施した。

被表彰団体・表彰者へ理事から表彰状と副賞の授与が行われた。

### 3. 課題及び次年度の取組方針

課外活動支援および学生理事表彰をはじめとした学生生活の支援は、更なる活性化を期待し、今年度の方針に倣って取り組む。

31年度に実施した「学生生活実態調査」について、前回調査に比べて学生の回答状況が低い結果となった。今回は任意で回答を求めたが、ガイダンスや履修登録を介する方法で行わない限り回答率が見込めないとの意見があり、次回の実施時には再検討することとした。

# 平成 30 年度地域教育連携部門活動報告

部門長 竹内 章郎

## 1. 会議等の記録

地域教育連携部門は、地域教育機関との連携を推進すべく、大学間単位互換授業を含むネットワーク大学コンソーシアムの運営及び事業の実施に関する事、サテライトキャンパスの運営及び事業の実施に関する業務を実施した。

本報告においては、部門会議に関わる事項に加えて岐阜大学が事務局を担うネットワーク大学コンソーシアム岐阜の会議、事業を報告する。

### (1) 部門会議等の記録

表 1 に地域教育連携部門会議の開催日と審議事項を示す。

表 1 地域教育連携部門会議

開催日	主な審議議題
11月20日	(1) サテライトキャンパスの振興方策について

### (2) ネットワーク大学コンソーシアム会議等の記録

表 2 にネットワーク大学コンソーシアム岐阜の主な会議の開催日と審議事項及びイベント事業について示す。

表 2 ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の主な会議

開催日	主な審議議題, イベント事業
4月23日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成30年度第1回教員免許状更新講習部会 (1) 平成29年度岐阜県教員免許状更新講習選択講習分配金の決算について (2) 平成30年度必修領域講習等の講師について
5月8日	平成30年度第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜幹事会(メール会議) (1) 平成29年度事業報告・決算(案)について (2) 平成30年度負担金(案)について
5月11日	平成30年度ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携・情報発信部会第1回部会 (1) 平成30年度高大連携・情報発信事業計画案について
5月15日	平成30年度ネットワーク大学コンソーシアム岐阜第1回地域連携・産学連携部会

	(1) 平成30年度の事業について
5月22日	平成30年度第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜運営協議会 (1) 平成29年度事業報告・決算について (2) 平成30年度負担金について
7月12日	平成30年度ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携・情報発信部会第2回部会 (1) 平成30年度高大連携・情報発信事業計画案について
9月11日	平成30年度第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜中長期計画策定運用部会 (1) 中長期計画の策定について (2) 私立大学等改革総合支援事業タイプ5の設問(共通)への対応及び回答案の作成について (3) 岐阜県における高等教育のあり方等について
9月28日	平成30年度第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携セミナー 心に響く授業づくりー思考力・判断力・表現力の育成と英語教育ー I. 基調講演(江原 美明(神奈川県立国際言語文化アカデミア教授)) 「新学習指導要領が示す高等学校における英語教育の姿」 II. 実践発表&ワークショップI(植草 智代(千葉県立磯辺高等学校教諭)) 「発信力の育成と評価の工夫」 III. 講義&ワークショップII(百瀬 美帆(明海大学教職課程センター准教授)) 「英語の授業を通して生徒の心を滋養する」
11月27日	平成30年度第1回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教育連携推進部会 (1) 2019年度単位互換科目の開講予定調査について (2) 2019年度共同プログラム(教職員向け)の企画について (3) 2019年度共同プログラム(一般向け)の企画について (4) 2019年度公開講座の企画1について (5) 2019年度公開講座の企画2について
12月3日	平成30年度第2回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携セミナー I. 基調講演(向後 秀明(敬愛大学英語教育開発センター長, 国際学部国際学科教授)) 「主体的・対話的で深い学び」への転換と大学入試改革ー今後の教員に求められることとはー
12月21日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成30年度第1回企画調整会議(メール会議) (1) 2019年度ネットワーク大学コンソーシアム岐阜予算(素案)について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜パンフレット2019の作成について
12月22日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成30年度「学生による地域課題解決提案事業」成果報告会 会場: 岐阜大学サテライトキャンパス (1) 開会あいさつ, 審査員紹介, 発表方法・審査基準説明

	<p>(2) 成果報告</p> <p>(3) グループ懇談会</p> <p>(4) 審査結果の発表, 審査員の講評, 閉会の挨拶</p>
2月14日	<p>平成30年度第2回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教育連携推進部会</p> <p>(1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜単位互換事業ガイドラインについて</p> <p>(2) 2019年度単位互換科目の開講について</p> <p>(3) 2019年度共同プログラム(教職員対象)について</p> <p>(4) 2019年度共同プログラム(一般対象)について</p> <p>(5) 2019年度公開講座1について</p> <p>(6) 2019年度公開講座2について</p>
2月19日	<p>平成30年度第2回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜教員免許状更新講習部会</p> <p>(1) 必修講習及び選択必修講習ガイドラインについて</p> <p>(2) 2019年度岐阜県教員免許状更新講習必修講習及び選択必修講習の開催日程について</p> <p>(3) 2019年度岐阜県教員免許状更新講習必修講習及び選択必修講習の担当講師について</p> <p>(4) 2019年度岐阜県教員免許状更新講習の選択講習開催について</p> <p>(5) 2019年度岐阜県教員免許状更新講習の開催等日程について</p>
2月27日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成30年度第2回企画調整会議(メール会議)</p> <p>(1) 部会からの報告及び事業計画(案)について</p> <p>(2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜パンフレット2019の作成について</p> <p>(3) 2019年度予算及び負担金(案)について</p>
3月11日	<p>平成30年度第2回ネットワーク大学コンソーシアム岐阜運営協議会(メール開催)</p> <p>(1) 2019年度役員等(案)について</p> <p>(2) 2019年度事業計画(案)について</p> <p>(3) 2019年度予算(案)について</p>
3月18日	<p>ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成30年度第2回幹事会</p> <p>(1) 2019年度役員(案)について</p> <p>(2) 2019年度事業計画(案)について</p> <p>(3) 2019年度予算(案)及び参加校負担金(案)について</p>
3月27日	<p>平成30年度ネットワーク大学コンソーシアム岐阜高大連携・情報発信部会第3回部会</p> <p>(1) 平成31年度高大連携・情報発信事業計画案について</p>

## 2. 活動内容及び成果

### (1) サテライトキャンパスの運営及び事業

a) 利用目的：授業

前学期 岐阜大学開講科目 9 科目 履修者数 179 名

後学期 岐阜大学開講科目 4 科目 履修者数 37 名

早朝クラスの実施

平成 28 年度から、朝の時間帯における岐阜駅から岐阜大学へ向かうバスの混雑緩和を目的として、新たに「早朝クラス」を開始した。これは、一部の授業を 8:00 からサテライトキャンパスで開講することにより、柳戸キャンパスで行われる 2 限目の授業に学生が余裕を持って向かえるようにしたものである。平成 30 年度は、下記の授業を早朝クラスとして開講した。また、平成 31 年度以降は、さらなるバスの混雑緩和を目指し、早朝クラスを 7:50 から開始することとした。

前学期	教養の数学（コンピューターのための数学概論）（月）	履修者数 25 名
	外国語と地域の方言（月）	履修者数 73 名
	ひろがる学び，つながる学び（火）	履修者数 3 名
	科学論（水）	履修者数 18 名
後学期	民事法（財産と法）（火）	履修者数 17 名
	教育論（岐阜大学の歴史と高等教育論）（水）	履修者数 13 名

b) 利用目的：講演会，会議等

前学期 340 件 延べ利用者数 6,436 名

後学期 366 件 延べ利用者数 7,609 名

公開講座「アカデミッククラブ」の開始

一般市民への啓発や生涯学習活動の推進を目的として、新たに公開講座「アカデミッククラブ」を開始した。これは、岐阜大学名誉教授等を講師とした講座であり、平成 30 年度は 25 講座全 146 回を開催し、延べ 3,413 名の方が参加した。

c) 使用料金

自己収入の増加を目指し、平成 29 年度教育連携推進部門での審議を踏まえ、国立大学法人岐阜大学サテライトキャンパス規程を改正し、サテライトキャンパスの使用料金単価を改定した。

区分	改正前	改正後
多目的講義室（大）	4,320 円	6,000 円
多目的講義室（中）	2,365 円	4,000 円
ミーティングルーム（A）	410 円	750 円
ミーティングルーム（B）	266 円	450 円



## (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の事業

### a) 教育連携推進事業

#### ■単位互換授業及び社会人公開授業

##### ①目的

- ・ 学生の学習機会の多様化（人材育成・教育機能の充実）
- ・ 地域への生涯学習機会の提供
- ・ 既存授業の社会人への開放

##### ②履修者数等

	提供科目数（科目）	受講科目数（科目）	履修者数（人）
単位互換授業	126	10	121
社会人公開授業	56	31	86

#### ■共同プログラム

##### ①目的

- ・ 社会人・高校生への学習機会の提供
- ・ 学生と社会人・高校生が協働して学ぶことができる場の提供
- ・ 社会人・学生の人材育成等の学習機会の提供

##### ②プログラム名称

- ・ 一般向け：発達障がいのある児童・生徒の支援
- ・ 教職員向け：人材育成プログラム

##### ③受講者数

	講座回数 (回)	総受講者 数(人)	受講者数(人)		
			社会人	高校生	学生
一般向け	6	255	255(23)	0	0
教職員向け	5	279	279(279)	0	0

(注) ( ) は、コンソーシアム加盟機関に所属する者を内数で示す。

#### ■公開講座

##### ①目的

- ・ 社会人・高校生への学習機会の提供
- ・ 地域への生涯学習機会の提供

##### ②プログラム名称

- ・ 岐阜を知ろう さらに識ろう
- ・ 古典への誘いⅡ～伝統と創造～

③受講者数

	講座回数 (回)	総受講者 数(人)	受講者		
			社会人	高校生	学生
岐阜を知ろう	10	344	344	0	0
古典への誘いⅡ	15	1,126	1,126	0	0

b) 高大連携・情報発信事業

①目的

- ・ 大学に対する高校生の理解の促進
- ・ 大学における高度な教育・研究に触れる機会や学部選択に関する情報の提供，高等教育機関と高校との連携

②実績

高大連携セミナーの実施

<第1回>

- ・ 開催月日：平成30年9月28日（金）
- ・ 会場：朝日大学
- ・ 当日参加者：70名（大学教職員，高等学校教員，教職課程履修学生等）
- ・ 内容：1. 基調講演「新学習指導要領が示す高等学校における英語教育の姿」  
（講師：江原美明（神奈川県立国際言語文化アカデミア教授））
- 2. 実践発表&ワークショップⅠ  
「発信力の育成と評価の工夫」（講師：植草智代（千葉県立磯部高等学校教諭））
- 3. 講義&ワークショップⅡ  
「英語の授業を通して生徒の心を滋養する」  
（講師：百瀬美帆（明海大学教職課程センター准教授））

<第2回>

- ・ 開催月日：平成30年12月3日（火）
- ・ 会場：朝日大学
- ・ 当日参加者：92名（大学教職員，高等学校教員，教職課程履修学生等）
- ・ 内容：1. 講演会「『主体的・対話的で深い学び』への転換と大学入試改革ー今後の教員に求められることとはー」  
（講師：向後秀明（敬愛大学英語教育開発センター長，国際学部国際学科教授））

c) 地域連携・産学連携事業

①目的

- ・ 地域貢献
- ・ 教育・研究の充実

## ②実績

学生による地域課題解決提案事業

- ・ 13 機関から 23 件の応募があり 23 件を採択
- ・ 成果報告会の開催

開催月日：平成 30 年 12 月 22 日（土）

会場：岐阜大学サテライトキャンパス

当日参加者：177 名

内容：1. 成果発表プレゼンテーション  
2. グループ懇談会

表彰：第一会場 第 1 位 岐阜大学 都市・景観研究室

第 2 位 岐阜工業高等専門学校 都市工学研究室

第二会場 第 1 位 中京学院大学 チーム美濃焼

第 2 位 岐阜工業高等専門学校 都市工学研究室&コンピュータ倶楽部

## d) 教員免許状更新講習事業

### ①目的

- ・ 小・中・高等学校等教育免許状更新講習の調整・実施

### ②実施期間

夏季：平成 30 年 6 月 16 日から 8 月 31 日

秋季：平成 30 年 10 月 27 日から 12 月 1 日

### ③講習開催実績

#### 1. 必修領域（1 講習 6 時間）

講習開設数：24 講習

講習実施機関：岐阜大学

受講者数：2,923 名

#### 2. 選択必修講習（1 講習 6 時間）

講習開設数：35 講習

講習実施機関：岐阜大学，岐阜聖徳学園大学，中部学院大学，東海学院大学

受講者数：2,527 名

#### 3. 選択領域（一部を除き 1 講習 6 時間）

講習開設数：380 講習

講習実施機関：朝日大学，岐阜大学，岐阜経済大学，岐阜県立看護大学，岐阜聖徳学園大学，岐阜女子大学，東海学院大学，中部学院大学，大垣女子短期大学，岐阜聖徳学園大学短期大学部，東海学院大学短期大学部，中部学院大学短期大学部，中京学院大学短期大学部，高山自動車短期大学，岐阜県教育委員会，岐阜市教育委員会

(以上 8 大学, 6 短期大学 (部), 2 教育委員会)

受講者数 : 8,540 名

### 3. 課題及び次年度の取組方針

#### (1) サテライトキャンパスについて

サテライトキャンパスでは、利用者獲得に向けた取組が功を奏し、特に学外者の利用件数が増加するとともに、利用料収入も着実に向上してきている。しかし、本学の教育活動においては十分な利用がなされておらず、サテライトキャンパスの設置目的である「本学の教育研究、社会貢献を推進するための新たな活動拠点」であることは達成されているとは言いがたい状況であると考え。これを踏まえ、次年度においては、サテライトキャンパスの設置目的を踏まえた活性化方策を検討していきたい。

#### (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜について

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、新たな将来ビジョン 2019 を策定するとともに、各部会において着実な事業実施に取り組んできた。一方、近年の大学を取り巻く環境の厳しさもあり、国公私立の枠組みを超えた連携の在り方が国策レベルでも検討されているところである。ネットワーク大学コンソーシアム岐阜においても、私立大学等総合改革支援事業（タイプ 5）に採択され、地域の高等教育の振興に関するプラットフォーム形成や中長期計画の策定に取り組んできた。次年度においても、中長期計画を踏まえた各部会の事業の更なる発展とともに、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜や加盟機関を取り巻く新たな課題に対する解決に取り組んでいきたい。

# 平成 30 年度教職課程支援部門活動報告

部門長 石川 英志

## 1. 会議等の記録

会議の実施日と主な審議議題は以下の表 1 のとおりである。

表 1 教職課程支援部門会議

開催日	主な審議議題
4 月 24 日	(1)平成 30 年度教育実習・養護実習について (2)平成 30 年度教育実習・養護実習事後指導について (3)平成 30 年度教職実践演習について (4)平成 30 年度「教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会」の委員委嘱について
6 月 14 日	(1)履修願について (2)全学共通教職科目（教職課程支援部門開講科目）の履修について (3)平成 30 年度教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会の実施について (4)平成 30 年度教職実践演習の計画について (5)平成 31 年度全学共通教職科目の履修について
7 月 24 日	(1)平成 30 年度後学期全学共通教職科目の開講について (2)平成 31 年度教育実習・養護実習の実習予定校について (3)平成 31 年度からの改正教育職員免許法等の施行における経過措置に関する整理
10 月 24 日	(1)教育実習・養護実習事前指導について (2)平成 31 年度全学共通「教職課程」の授業予定について (3)平成 30 年度後学期非常勤講師の採用について (4)平成 30 年度岐阜県教員免許状更新講習に係る学内分配金について
1 月 22 日	(1)2019 年度教職課程要覧について (2)履修願について (3)2019 年度岐阜県教員免許状更新講習の開催について
3 月 22 日	(1)平成 30 年度後学期の受講及び成績評定の状況について

## 2. 活動内容及び成果

### (1)「教職課程」受講者数と教員採用試験結果

表 2, 表 3 に示すように, 1 年次生から 4 年次生まであわせて, 前学期 138 名, 後学期 139

名が、「教職課程」を受講した。

次に、教員採用試験結果について表4に示す。現役4年次生のうち18名が教員採用試験を受け、一次試験合格者は9名、二次試験合格者（正規教員）は4名であった。なお、教職課程を受講した既卒者の受験や合格に関するデータは反映されていない。また、講師に関しても表中に示していないが、常勤講師7名、非常勤講師1名が確定している（2019年3月末現在）。

表2 平成30年度前学期 全学共通「教職課程」受講者数

年次	合計	内 訳			
		工学部	応用生物科学部		医学部
		応物コース	生産環境	応用生命	看護学科
1年次	37	4	12	12	9
2年次	33	4	4	11	14
3年次	30	6	12	7	5
4年次	36	8	13	7	8
院 生	2			2	
合 計	138	22	41	39	36

表3 平成30年度後学期 全学共通「教職課程」受講者数

年次	合計	内 訳			
		工学部	応用生物科学部		医学部
		応物コース	生産環境	応用生命	看護学科
1年次	36	3	15	12	9
2年次	21	4	4	11	14
3年次	43	6	11	7	5
4年次	36	8	13	6	8
院 生	3			3	
合 計	139	21	43	39	36

表4 平成30年度・教員採用試験結果

学部	区分(教科)	一次選考試験		二次選考試験	
		受験者	合格者	受験者	合格者
工学部	高等学校教諭(数学)	4	2	2	1
応用生物科学部	高等学校教諭(理科)	6	1	1	0
	高等学校教諭(農業)	2	2	2	2
医学部看護学科	養護教諭	6	4	4	1

## (2) 教職課程の充実について

教職課程の充実を直接的、間接的に図る方策として平成 30 年度実施した項目を挙げる。

1. 部門スタッフと各学部授業担当者との連携
2. 教職課程支援部門室紀要の発刊に関すること等

1. について。教職課程支援部門と各学部での授業の連携をより充実させ、協働的な取り組みを推進するために、教職課程支援部門特任教授と各学部での授業担当者の対面会議（「教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会」）を今年度も開催した。学生に関する情報交換や指導の現状と課題等についての交流を図り、一貫性をもった教職課程の構築と指導の充実を図るための協議ができた。

2. について。29 年度に本部門紀要の創刊号を出したが、本年度も発刊し、ISSN 申請登録を行った。この背景には、紀要という仕掛けを通して、部門スタッフが自らの大学教育実践を分析・省察し、その基盤となる理論知の形成と充実を図り、さらに、そうした一連の取組を公開して第三者の立場からの批正を求め、受け入れ、実践の向上を図ろうとする意図がある。

## 3. 課題及び次年度の取組方針

次年度も、工学部・応用生物科学部・医学部看護学科の教員免許取得希望者に対し、本部門で開講する授業が高校教員や養護教諭の養成に資する教育内容を提供しているかどうかを十分吟味し、個々の状況に応じた丁寧な指導に努めていきたい。その際に、上述したように、教職課程支援部門と各学部との一層の連携を図るとともに、岐阜県や近隣の高校に対して、岐阜大学では教育学部以外に教員免許状取得が可能な仕組み（組織体制）が用意され機能していることを広報することが今後の中心的な課題であろう。

# 平成30年度キャリア支援部門活動報告

部 門 長 横 田 康 成  
副 部 門 長 吉 田 敏

## 1. 会議等の記録

表1 キャリア支援部門会議

開催日	主な審議議題
4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部門の事業計画について</li> <li>・キャリア形成支援に関する岐阜大学同窓会連合会への依頼について</li> </ul>
5月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業の募集について</li> <li>・平成29年度計画実施状況及び平成30年度計画について</li> </ul>
6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生のボランティア活動について</li> <li>・基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業の申請について</li> </ul>
7月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生支援プロジェクト事業の採択通知書の交付式について</li> <li>・インターンシップ推進フォーラムについて</li> </ul>
9月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ専門人材セミナーについて</li> <li>・後学期の就職活動支援ガイダンス等について</li> </ul>
10月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜大学OB・OGによる仕事研究セミナーの開催について</li> <li>・大学生等を対象とした労働条件セミナーの開催について</li> </ul>
11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブラック企業に引っかけられないために」の講演会開催について</li> <li>・中部経済連合会からの「企業・人材プール」リストの提供活用について</li> </ul>
12月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018 社会人基礎力育成グランプリ中部地区大会の結果について</li> <li>・「ブラック企業に引っかけられないために」の労働条件セミナーについて</li> </ul>
1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・修了後の「先輩社会人」としての協力について</li> <li>・各学部等のインターンシップの取り組みについて</li> </ul>
2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動報告及びこどもミニフェスティバルの開催について</li> <li>・オリジナルセミナー及び岐阜大学学生企業展について</li> </ul>
3月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の事業計画について</li> <li>・社会人基礎力育成グランプリ全国決勝大会について</li> </ul>



表2 イノベーション創出若手人材養成部会会議

開催日	主な審議議題
4月25日	・プログラムの登録者について ・第8回成果報告会について
5月24日	・イノベーション創出若手人材養成プログラム聴講生について ・アイデア・トレーニング・キャンプの実施について
6月21日	・学外研修参加者について ・「未来博士3分間コンペティション2018」の発表者募集について
7月19日	・エンライトメント・レクチャーについて ・「未来博士3分間コンペティション2018」の発表者について
9月6日	・イノベーションスキル・プログラムの成績について ・学外研修参加者について
10月18日	・2019イノベ募集要項（第10期研修生・聴講生）について ・「未来博士3分間コンペティション2018」の受賞者について
11月15日	・学外研修(インターンシップ)参加者について ・「未来博士と企業との交流会」の開催について
12月13日	・「未来博士と企業との交流会」の実施結果について ・インターンシップ参加者への支援について
1月17日	・イノベプログラム研修生・聴講生の募集説明会及び研修生の面接日時について ・非常勤講師について
2月7日	・第9回成果報告会の開催について ・プログラム修了証, 修了証(講義)の授与について
3月14日	・学外研修プログラム(インターンシップ)の成績について ・第9回成果報告会について

## 2. 活動内容及び成果

### <キャリア支援>

- ・学生の基盤的能力向上を図るための自主的活動支援

基盤的能力の育成を目的とする課題を募集し、4つの団体(学生ボラネット, のむゼミ, 応生ツイッター, 動画配信サイト)に各10万円を上限とする申請に応じた活動支援を行った。また, 申請及び成果報告時に学生によるプレゼンを行った。

- ・学生のボランティア活動支援

白村直也特任助教を中心として, 毎週水曜日の午後に図書館アカデミックコアで, 金曜日の午後にキャリアセンターでそれぞれ学生からのボランティアの相談窓口を開い

た。

- ・講演会、セミナーの開催

岐阜大学同窓会連合会会長表彰の第1回被表彰者工業倶楽部 市橋保彦氏（日野自動車会長）の講演会（参加者400名超え）を4月の入学式の日（4月10日）に岐阜大学講堂で開いた。

また、「ブラック企業にひっかからないために」の労働条件セミナー（参加者50名）を1月に、岐阜大学OB・OGによる仕事研究セミナー（参加者107名）を2月に開催した。

- ・研究会への参加

7月開催の「インターンシップ推進フォーラム」及び1月開催の「インターンシップ専門人材セミナー」へ参加した。

- ・キャリア支援部門ニュースの発行

部門の活動紹介、卒業生からの寄稿、プロジェクト型インターンシップ等を掲載した部門ニュースを平成30年10月と平成31年3月の2回発行し、学生に配付した。

- ・キャリア支援部門会議とイノベーション創出若手人材養成部会会議を合同で毎月1回開催した。

- ・授業改善のためのアンケート公開・改善の実行

平成30年3月にアンケート結果の公開を行い、授業の改善を試みた。「現代社会を支える企業」の授業では、企業担当者との交流を進めるために学生の間接発表、および最終発表のときにオンラインで東京の研究所にいる講師にビデオ会議形式で参加してもらい、発表の批評や意見の交換をできるようにした。またこの授業内容をキャリア支援部門のホームページに画像付きで報告し、今後の学生が参加しやすいようにした。

#### <イノベーション創出若手人材養成>

- ・スキルプログラムとして、前学期にエンライトメント・レクチャー（8回）、ビジネス英語（15回）、アイデア・トレーニング・キャンプ（3日間）の3つを実施した。「プログラム研修生」として博士後期課程学生2名が参加し、これらプログラム3つのすべてを履修した。「聴講生」は、これらプログラムをどれでも1つから自由に受講できるが、これらのプログラムにはのべ52名の聴講生を含む博士後期課程学生が参加した。エンライトメント・レクチャーでは講義のあと、留学生のために8回分の授業の英語と日本語の字幕付きビデオを作成し、借りて視聴・再学習できるようにした。

- ・学外研修（インターンシップ）として、H30年度研修生2名のうち1名（連合農学研究科1年）が、H30.12.1～H31.1.31の期間2か月間のインターンシップ（理化学研究所）を、広島大学HIRAKUプロジェクトからの全面的支援の下、実施した（もう1名は令和1年度に実施予定）。2018年度後期以降、長期インターンシップに参加する研修生のために、宿泊費の一部を支援するための仕組み（研修生支援事業実施要項）を整備した。

- ・平成30年9月15日に東広島芸術文化ホールで開催された「未来博士3分間コンペ

ティション 2018」(3MT; 9 大学から 31 名発表参加, 約 280 名の一般オーディエンス)に本学より博士後期課程学生 5 名が参加し, そのうち 3 名が受賞した(浅野早知, 尾関智恵, Yolani Syaputri; 各グローバルチャレンジ (GC) 賞, 大塚賞, 協和発酵バイオ賞)。GC 賞を受賞した 1 名(連合農学研究科)は, 2018 年度長期インターンシップを受ける権利を得ると同時に, 翌年の国際大会(オーストラリア, クイーンズランド大学)に派遣されることになった。2017 年の 3MT コンペティションに参加し企業賞を受賞した 1 名(工学研究科)は, 2018 年にも参加してその企業からインターンシップの誘いがあり企業からの全面支援の下 18 年の暮れに 10 日間のインターンシップに参加することができた。

- ・平成 30 年 12 月 7 日に, 新規に「未来博士と企業との交流会」を柳戸会館で開催し, D1~D4, PD から 10 名参加, 7 名の発表(日本語あるいは英語で口演, 及びポスター発表)があり, 企業から 5 社 10 名の参加, 3 社から口演発表があり, 質疑応答を含め 2 時間近くポスター発表を中心に大学院生と企業担当者との間で熱心に懇親交流が行われた。この交流会の報告をホームページに載せた。

- ・平成 31 年 1 月にニュースレター第 4 号を発行した。

- ・平成 31 年 1 月に岐阜大学イノベーション創出若手人材養成プログラム概要(改訂版)を発行した。

- ・平成 31 年 1 月 15 日より 2019 年度第 10 期プログラム研修生及び聴講生の募集を開始した。募集要項とニュースレターを全研究科の博士後期課程 1・2 年及び進学予定の博士前期課程 2 年の学生に配布した。また, 日本語と英語による説明会を応用生物科学部の講義室で各 1 回, 計 2 回開催した。

- ・2019 年度には, プログラム研修生は 0 名, 聴講生はのべ 28 名が参加予定である。

- ・平成 31 年 3 月 18 日にイノベーション創出若手人材養成プログラム第 9 回成果報告会を開催した。参加者は学生・教職員・企業担当者入れて 30 名で, 広島大学と北海道大学のキャリア支援関連部門の担当者(各 1 名)の参加もあった。この報告会の前に, 育成会の総会があり 5 社の育成会企業からの参加のもと, 課題について審議し, 研修生 1 名(工学研究科)の紹介を行いインターンシップ等の依頼をした。

#### <就職支援>

- ・求人情報の提供

学生に公開している本学への求人件数(学部受付分を除く)は 2019 年 3 月末現在 1,104 件であった。(就職支援室受付分求人件数)

- ・就職活動に関する学生相談

就職活動に関する疑問や悩みの相談から, エントリーシート・履歴書の添削, 面接指導など就職活動全般にわたるアドバイスを行っており, その件数は 2019 年 3 月末現在 1,721 件(窓口対応(随時) 345 件, 相談員対応件数(予約制) 1,376 件)であった。

- ・各種事業の実施及び学生の参加状況

#### ①就職（活動支援）ガイダンス

講師による講義や実習、OB や内定者からの体験報告等を就職活動の流れに沿ったテーマ構成で実施し、積極的に取り組む気構えを植えつけることを目的とするもので、5月から1月までの間に計20回開催し、のべ2,300人以上の参加があった。

#### ②公務員業務説明会

就職ガイダンスの一環として、1月9日・23日の2週にわたり14機関を招いて実施しており、合計で146名の参加があった。

#### ③グループ面接体験講座（模擬面接）

採用試験で重視される面接について、実践を通して自信を持った受け答えができるよう、緊張感の中での面接力の向上を図ることを目的として、外注により3月～5月に実施するもので、主な対象である2019年3月卒業・修了予定者から、のべ190名の参加があった。

#### ④グループディスカッション練習・エントリーシート対策講座ほか

最近、採用試験に取り入れる企業・自治体が増えているグループディスカッションやエントリーシートの書き方について、相談員2名が「就活セミナー」として講座を実施するもので、主な対象である2019年3月卒業・修了予定者から、のべ373名の参加があった。

#### ⑤「岐阜大学学生企業展」の支援

本学の学内合同企業説明会は10数年の歴史を持つ学生有志による「岐阜大学学生企業展」がその役目を担っており、これを唯一の全学合同企業説明会としており、更に学生のキャリア形成支援（自主活動）を就職支援室としても側面から支援している。

2019年は、3月5日（火）・6日（水）に334社の企業を招いて開催し、2日間合計で約380名の参加があった。

#### ⑥外国人留学生の就職支援

留学生は日本の就職活動のルールになじめず、失敗するケースも多いと聞く。

そこで前述の就職ガイダンスに加え、7月から11月まで5回にわたって留学生のための就職活動支援コース講義を外部委託して実施し、のべ42名の参加があった。

また、今年度は初めて就職支援室主催で日本企業と留学生との交流会を2回開催し、のべ61名の参加があった。

### 3. 課題及び次年度の取組方針

課題：

- ・ キャリア支援部門主催FD、交流会の学生への周知・参加者の確保
- ・ イノベーション創出若手人材養成プログラムへの参加学生の確保と定着化、学生・教職員への取り組みの周知

## 次年度取り組み方針

### 1. キャリア形成支援事業

- (1) 学生の基盤的能力向上を育成する学生支援プロジェクト事業  
課題募集・選考 採択予定 @10万円×3団体
- (2) 学生のボランティア活動支援  
ボランティアの相談・指導を行うため、水曜日と金曜日の午後に相談窓口を開設している。
- (3) キャリア形成科目の支援  
全共の授業「プロジェクト型インターンシップ」の覚書作成支援、受入先企業等との連絡調整を行う。

### 2. キャリア形成に関する研究・広報活動

- (1) FDの開催
- (2) 岐阜大学OB・OGによる仕事セミナーの開催
- (3) 各学部就職担当教職員とキャリア支援部門会議委員との情報交換会の開催
- (4) 研修会への参加  
「岐阜県インターンシップ推進協議会成果報告会」等
- (5) キャリア支援部門ニュースの発行（年2回 10月と3月）  
部門の活動紹介、先輩社会人からの寄稿等を掲載した部門ニュースを年2回発行し、学生に配付している。

### 3. イノベーション創出若手人材養成プログラムの実施

- (1) プログラムの実施、企業との交流会、プログラム研修生・聴講生の募集及び説明会開催、選考、インターンシップ受入企業への訪問、成果報告会、修了証授与式
- (2) インターンシップ研修生への宿泊費補助事業  
1人当たり最高5万円 ×2名

### 4. イノベーション創出若手人材養成プログラムに関する研究・広報活動

- (1) FDの開催
- (2) NEWS LETTERの発行（年1回）
- (3) プログラム概要の改訂・発行（年1回）
- (4) コンソーシアム事業への参加（広島大学「未来を拓く地方協奏プラットホーム」）
- (5) 名古屋大学との連携